

## 6. 基地常駐機及び主な飛来機

### (1) 基地常駐機

#### ● ロッキード・マーティン C-130J

『スーパーハーキュリーズ』

ターボプロップ4発の軍用中距離輸送機。

昭和50年9月、沖縄県の基地から移駐した第345戦術空輸部隊の主力機であり、平成31年4月に、C-130HからC-130Jに交代を完了した。

横田基地で年間を通じて離発着が多い機種であり、日常的に訓練が行われている。



#### ● ビーチクラフト C-12J

『ヒューロン』

双発のターボプロップ機で、貨物や乗客輸送のほか医療救援にも使用される。



#### ● ベル UH-1N

『ヒューイ』

中型単発汎用タービンヘリコプター。

基地周辺での訓練時には、低空で市街地上空を旋回飛行するため、苦情が寄せられる。



- ベル・ボーイング CV-22  
『オスプレイ』  
回転翼軸の角度を変更できるテールローター式の輸送機



## (2) 米軍の主な飛来機

- ノースロップ・グラマン C-2  
『グレイハウンド』  
双発ターボプロップの艦上輸送機で  
基地と空母間の連絡、輸送を行う。  
E-2C同様、たびたび飛来し低空  
で旋回飛行をする。



- ロッキード・マーティン C-5  
『ギャラクシー』  
ジェット4発の世界最大級の輸送機。  
激しい騒音を発し離着陸飛行直  
下では、110dBを越えるとともにす  
さまじい威圧感がある。



●ボーイング C-17

『グローブマスター』

ジェット4発の新型の軍用輸送機。  
搭載量はC-5並みで、機体寸法はC-141程度、離着陸性能はC-130以上という目標により開発。  
米陸軍のM1戦車の搭載が可能である。



●ボーイング KC-10

『エクステンダー』

ジェット3発の空中給油機、貨物輸送機。DC-10-30CFの軍用型機。



●ボーイング KC-135

『ストラトタンカー』

ジェット4発の空中給油機、貨物輸送機。民間型のB707型の軍用型。  
従来はすさまじい騒音であったが、最近では低騒音型のエンジンになっている。



● ロッキード・マーティン F-16

『ファイティングファルコン』

最新技術と大胆な設計で、素晴らしい空中機動力と大きな攻撃力を、軽量小型の機体にまとめた戦闘機である。

パス時、離陸時の騒音は極めて大きい。



● ボーイング F/A-18E/F

『スーパーホーネット』

ホーネットの基本的な設計を維持しつつ全体的に機体を大型化したもの。

高出力エンジンを搭載し、レーダーなどのアビオニクス類も改良、兵器搭載量や戦闘時の飛行距離を大幅に向上させた。



● ノースロップ・グラマン RQ-4B

『グローバルホーク』

情報収集、警戒監視、偵察を任務とする高高度滞空型無人偵察機

平成26年以降、グアムを拠点に運用されているグローバルホークを日本（三沢飛行場及び横田飛行場）に一時展開している。

